

(仮称) 未病いやしの里センターについて

神奈川県政策局

未病いやしの里づくりの全体像

プロジェクト計画書の記載

訪れる人をひきつけ、
地域の「にぎわい」を創り出す

県西地域を
「未病の戦略的エリア」
としてアピール

「にぎわい」の創出機能

食の提供

商品販売

未病に関する
情報発信機能

未病いやしの里センター
(仮称)

未病の
「見える化」機能

訪れる人が
「未病」についての知識を
深めることができる

地域コンシェルジュ
機能

訪れる人の
「未病」の状態を
チェックすることができる

訪れる人に
「未病を治す」地域資源の
体験を提案する

● 体調に応じた食を提供するレストラン等を「里の宿・レストラン」として認定

里の宿・レストラン

「森」の駅
(公園施設等)

「食」の駅
(直売所等)

「湯」の駅
(立ち寄り温泉等)

「運動」の駅
(パークゴルフ場等)

● 車で気軽に立ち寄れる観光施設を「未病いやしの里」の「駅」に登録してネットワーク

未病いやしの里センターの役割と機能

センターの役割

- ・ 県西地域が「未病の戦略的なエリア」であることを示す拠点
- ・ 未病に関する総合的な普及啓発を行う「地域の核」
- ・ 地域の活性化につながる「にぎわい」の創出

検討すべき機能

未病の情報発信

(未病を知る)

訪れる人が「未病」についての知識を深める

(未病に関する展示、最新の研究成果の紹介)

未病の「見える化」

(未病の状態がわかる)

訪れる人の「未病」の状態をチェックする

(セルフチェック、チェック結果の集約、科学的な検証の実施)

地域コンシェルジュ

(未病を治す魅力を結ぶ)

訪れる人に「未病を治す」地域資源の体験を提案

(チェック結果をもとに、一人ひとりに合った施設を紹介)

「にぎわい」の創出

(訪れる人々を惹きつける)

訪れる人をひきつけ、地域の「にぎわい」を創出

(物販、レストランなど地域振興施設を併設)

今後の対応方向

- ・ 「(仮称) 未病いやしの里センター」については、「にぎわい」の創出機能の展開など、民間事業者等のノウハウが不可欠。
- ・ このため、民間事業者等と連携した運営を前提に検討。
- ・ 今後、県の考え方を示した上で、民間事業者等に提案を求めていく方向で検討。

機能① 情報発信機能

目的

- ・訪れる人が「未病」についての知識を深める

検討例

展示コーナーの設置

県が運営



- ・誰もが理解できる、分かりやすい「未病」の解説
- ・「未病」に関する最新の研究や機器の展示

機能②③ 未病の見える化 ・地域コンシェルジュ機能

目的

- ・ 訪れる人の「未病」の状態をチェックする
- ・ 訪れる人に「未病を治す」地域資源の体験を提案

検討例

パーソナルサポート
コーナーの設置

民間事業者等と県が連携
して運営



- ・ 訪れる人が「未病」の状態をチェック
- ・ 「未病」に関して気軽に相談できる
- ・ 「未病」を治す地域の施設やスポットの紹介・案内

機能④ にぎわい創出

目的

- ・ 訪れる人をひきつけ、地域の「にぎわい」を創出

検討例

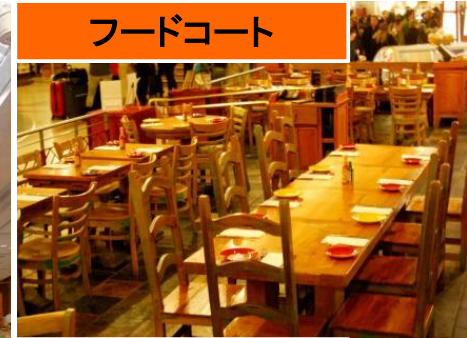
集客施設の併設

民間事業者等が運営

ショッピングモール



フードコート



直売所



道の駅



- ・ 地域の名店などによる健康食の提供
- ・ 魅力的な商業機能を集積
- ・ 十分なキャパシティの駐車場を確保

機能⑤ 「未病を治す」プラス機能

目的

- ・ 未病を治す機能を多彩に集約

検討例

プラス機能の展開

民間事業者等が運営

治「未病」院

- ・ 「未病を治す」医療サービスの提供

運動フィールド

- ・ センターを拠点としたウォーキングコース
健康ヨガなど運動メニューの設定

各種体験

- ・ 周辺施設とも連携し、アロマ、健康茶、
農作業体験、笑いなど多彩なアクティビティを提供

